



松田としひろ

まつだ

俊弘

みなさんの願い実現に
全力で頑張ります

略
歴

★1956年に入善町春日に生まれる。 ★魚津高校、新潟大学教育学部を卒業。 ★庄川町で4年ほど井波彫刻を学んだ後に17年間学習塾講師を務める。 ★1999年の補欠選挙で初当選し現在7期目。

日本共産党入善町委員会

ホームページ <https://jcpnyuzen.jp/>



住民の切実な願いに応える町政に



「食料品がどんどん値上がりして
スーパーへ行くのが不安」

「高齢者になっても 安心して
病院や買い物に行きたい」



「高齢の親が順番待ちで施設に入れない」
「ショートステイが利用できない」

「増え続ける空き家を何とかして」
「入善町の災害対策は大丈夫か」
「1人暮らしの下水道料金が高すぎる」



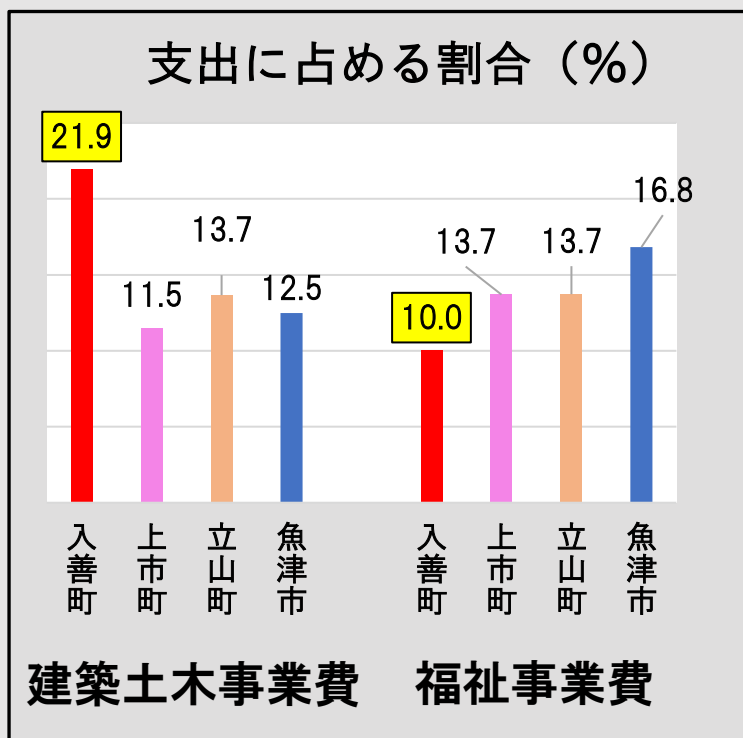
このような町民のみなさんの声に応えていくことこそ、
本来の町政の役割ではないでしょうか。私は暮らしを
守り支える町政をめざして精いっぱい頑張ります。

暮らし・福祉にもっと予算を

◆ 少ない福祉の予算

入善町の建築土木費は、ほかの市町村に較べて飛びぬけて大きくなっています。逆に、福祉事業費は大変少なくなっています。

※ グラフは平成25年から令和4年までの平均です。



◆ 大型事業の集中で借金が増大

大型土木事業ばかり優先した結果、令和6年度末の町の借金は平成24年に比べ1.8倍に膨らみました。

借金返済額は令和4年から15億円台になり、以前より約2億円も増えています。

「人口が減る中で、大型事業ばかりで良いのか」という声も。日本共産党は「必要なものでも、大型事業の集中は避けよ」と言って来ました。

大型公共事業優先でなく、住民優先の政治への転換が必要です。



暮らし続けられる入善町へ

◆ 物価高から暮らしを守るために

- ひとり親世帯や高齢者世帯などへの継続的な支援を強めます。
- 景気回復のため消費税を一律5%に引き下げよう国に求めています。
大企業と大金持ちに応分の負担を求め財源とします。

◆ 安心して買えるお米、安心して続けられる農業へ

- 米をはじめとして、消費者が安心して買い物ができるように、農産物の自給率向上と価格の安定を国に求めます。
- 安心して農業が続けられるよう、農家の所得補償を国に求めます。
- 農業機械の購入補助を充実します。



大型コンバインは
1,500万円以上



安心してご飯が食べられるのは、米作りが成り立ってこそその話です。

◆ 誰もが行きたい所へ行ける公共交通へ

- 午前のデマンドタクシーを増やします。
- 隣の市や町と結ぶバスを運行し、病院やスーパーに行けるようにします。



いざという時に受けられる介護体制を

◆ 事業が続けられる介護報酬を

- 国から介護事業所に支払われる介護報酬が低すぎて、どこも経営は危機的状況です。国に介護報酬の大幅な引き上げを求めます。



◆ 町内の介護事業所へ緊急支援を

- 高騰しているヘルパーのガソリン代や施設の食材購入費などに緊急支援します。
- 職員確保・離職防止のため、職員の夜勤手当や家賃補助など、町独自の支援を行います。



災害から命と暮らしを守る

- 町が主導して、津波や河川氾濫など、災害の種類ごとに実践的な避難訓練を実施します。
- 町の防災計画を、実際の災害に対応できるものに改善を求めています。
- 避難所にテント型間仕切り(写真)や発電機など十分な資機材を配備します。
- 防火水槽を住宅密集地などに計的に整備します。



家族用のテント型間仕切り
〈株式会社ニードの厚意により掲載〉

子どもたちが健やかに成長できる町へ

◆ 利用しやすい学童保育へ

- 夏休みなどの開所時刻が朝8時から7時半になりましたが、さらに7時から預かれるよう、町の責任で指導員を確保します。



◆ 悩みに応えるスクールカウンセラーの増員を

- 入善町でも不登校や発達障がいのある子どもが増えています。県から2人しか派遣されていないスクールカウンセラーを各学校に配置するよう求めます。
- 町独自でもカウンセラーを確保します。

◆ 学校給食を無償に

- 小中学校の給食を無償にします。約4,800万円あれば実現できます。



◆ 小中学校の体育館にクーラーを

- 猛暑から子どもたちを守り、災害時には避難所として利用するためにもクーラーの設置を進めます。

安心して暮らせる町づくり

◆ 地域の要望に応えられる予算と体制を

各地区から役場に寄せられる道路改修などの要望は、7割程度しか対応できていません。

- 不足している専門職員を確保し、十分な予算を付けて地域要望を実現できる体制をつくります。

◆ 空き家対策の強化に

- 早急に実態を調査し、放置空き家の状態に応じた対策を進めます。
- 危険な放置空き家は町の責任で解体します。

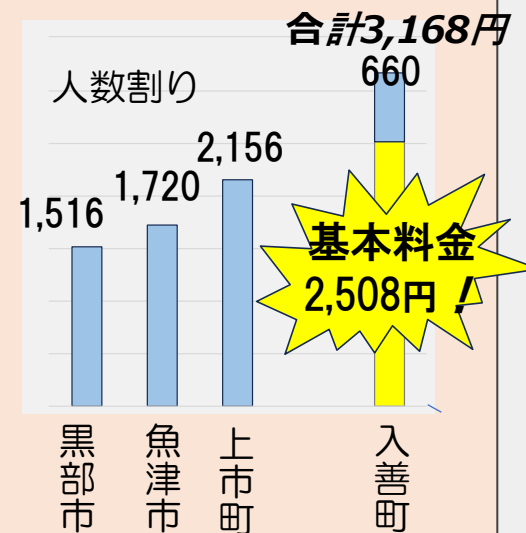
◆ 不公平な下水道使用料の改善を

入善町の1人世帯の使用料は、5人世帯一人分の2.7倍です。また、黒部市の2倍、上市町の1.5倍にもなります。

- 月2,508円という基本料金が原因です。
高い基本料金を廃止し、公平な料金制度に改善します。
- 町の一般会計から下水道会計へ繰り入れをし、高齢者世帯割引を緊急に実施します。

高い理由はこれだ！

1人世帯の月額料金の比較



◆ 杉沢の管理

- 国の天然記念物にふさわしい管理にするよう、専門家を含めた管理委員会を復活します。
- 文化庁に維持管理の財源を求めます。



雑木が伸びた杉沢

◆ 黒部川のダム排砂の改善

- 連携排砂は、6月から8月と期間を決めないで、大雨のたびに実施するよう関係機関に求めます。
- ダム湖に土砂を溜めないよう、排砂時間を延長するよう求めます。

みなさんの願いが実現・前進しました

＜いのちと暮らし＞

- ・プレミアム商品券を1万円単位から5千円単位で、申込者全員が購入できるように。
- ・加齢性難聴者の補聴器購入に補助。

＜防災対策＞

- ・八幡と横山の境、および横山と春日の境に副離岸堤を新設。(写真1)
- ・トイレトレーラーの導入が決定。
- ・災害時の緊急支援物資を避難所に分散して備蓄。
- ・木造住宅耐震改修の補助を120万円から140万円に引き上げ。
- ・避難所の早期解錠に暗証番号鍵ボックスを設置。



写真1 副離岸堤

＜子育て・介護・福祉＞

- ・学童保育の夏休みの開所を朝8時から7時30分に。
- ・行方不明者の早期発見ネットワークをつくる。



写真2 町道踊場線

＜生活基盤・環境＞

- ・入善駅トイレの段差解消。
- ・高瀬湧水の庭にトイレ設置が決定。
- ・入膳17区の町道踊場線の道路と水路を一体で改修。(写真2)
- ・県道北羽生入善線の櫛山消防分団屯所から東側を一部拡幅(写真3)
- ・入善駅のエレベーター設置に向けバリアフリー基本構想に着手。



写真3
県道北羽生入善線